

小集会プログラム3月28日(火) 18:00~19:30

A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
<p>W01: ネオニコチノイド系殺虫剤の生態影響 世話人: 中牟田潔</p>	<p>W02: 「伊藤嘉昭さん追悼本—伊藤嘉昭伝—」出版記念小集会 世話人: 安田弘法、辻和希、村瀬香</p>	<p>W03: 殺虫剤作用機構談話会 世話人: 園田昌司、水口智江可、山本敦司</p>	<p>W04: 第47回ハダニ談話会 ~紫外線を利用した新たなハダニ防除法確立に向けて:施設イチゴでの実用化の取組~ 世話人: 岸本 英成、伊藤 桂</p>	<p>W05: 生物間相互作用の情報科学 その13—植物化学成分がつかさどるチョウの寄主選択 世話人: 大村 尚、今野浩太郎、森 直樹、小野正人</p>	<p>W06: カメムシ目の生物音響学: 交信と行動制御による防除 世話人: 高梨琢磨、久保田健嗣</p>
<p>W011 降幡 駿介 (国立環境研) 農業の生態リスク評価を目指した新たな半野外試験法</p> <p>W012 ○滝 久智・安田 美香・永光 輝義 (森林総研) ニホンミツバチへの農業影響</p> <p>W013 ○中牟田 潔・相澤 章仁・野村 昌史 (千葉大・院・園芸) ナス圃場におけるネオニコチノイド系殺虫剤の動態と生態影響</p>	<p>W021 安田 弘法¹・○辻 和希²・村瀬 香³ (山形大¹・琉球大²・名古屋市大³) 「伊藤嘉昭さん追悼本—伊藤嘉昭伝—」出版記念小集会のご案内</p> <p>W022 濱口 京子 (森林総研関西) 害虫学教室で過ごした日々</p> <p>W023 田中 嘉成 (上智大・地球環境) 生物社会性の進化理論とヒトの起源: 血縁選択説はもう必要ないか</p> <p>W024 守屋成一 (農研機構中央農研) 沖縄で垣間見た生身の伊藤さん</p> <p>W025 岸由二 (慶應大学・名誉教授) 伊藤さんとのすれ違い: 貧栄養・大卵少産・保護進化仮</p>	<p>W031 上樂 明也 (農研機構・生物機能) 殺虫剤抵抗性原因遺伝子の探索における次世代シーケンス解析</p> <p>W032 ○平田 晃一・清田 隆太郎・岩佐 孝男 (日本曹達株式会社) 神経系作用化合物の作用機構に関する研究 (抵抗性について)</p>	<p>W041 刑部 正博 (京大院農・生態情報) 紫外線によるハダニ防除の基盤</p> <p>W042 ○田中 雅也¹・刑部 正博²・八瀬 順也¹・神頭 武嗣¹・佐藤 衛³ (兵庫農技総セ¹・京大院農・生態情報²・農研機構野菜花き研³) UVB照射による施設イチゴ(土耕栽培)のハダニ防除</p> <p>W043 ○石川 隆輔・土井 誠・中野 亮平・片山 晴喜 (静岡農林技研) 高設イチゴのハダニ類に対するUV-B照射による密度抑制効果の検証</p>	<p>W051 大村 尚 (広島大・院・生物圏) チョウの産卵を制御する植物化学成分</p> <p>W052 ○村上 正志¹・岡村 悠^{1,2} (千葉大・院・理¹・マックスプランク研究所²) 植食性昆虫の食草選択と植物の被食防御機構</p>	<p>W061 ○上地 奈美¹・松井 康浩²・高梨 琢磨³ (農研機構果樹茶部門¹・湘南メタルテック²・森林総研³) ブルブル震えて追い払う?超磁歪素子を用いた振動発生装置によるチャバネアオカメムシの行動制御効果の検証</p> <p>W062 ○弘中 満太郎¹・八瀬 順也²・関根 崇行³・猪苗代 翔太³ (浜松医大・生物¹・兵庫農技総セ²・宮城農園研³) 視覚トラップの捕虫効果増強を目的とした人工振動の利用</p> <p>W063 ○中林 大樹¹・水谷 孝一²・海老原 格²・若槻 尚斗²・宇賀 博之³・久保田 健嗣⁴ (筑波大院・シス情¹・筑波大・シス情系²・埼玉県・農技研³・農研機構・中央農研⁴) コナジラミ類が発する微小音モニタリング</p>

小集会プログラム3月28日(火) 18:00~19:30

G会場	H会場	I会場	J会場	K会場	L会場
W07: アフリカ昆虫学のタペー第23回日本ICIPE協会研究報告会 世話人: 足達太郎	W08: KAMEMUSHI TODAY 2017 世話人: 向井 裕美、松浦 優	W09: Back to the future; 生命表研究の復活と応用 世話人: 徳田 誠	W10: アリをめぐる生物種間の相互作用 世話人: 秋野順治、坂本洋典、萩原康夫	W11: カイコの遺伝資源と変異体を活用した昆虫機能研究—NBRPプロジェクトの紹介からゲノム編集まで 世話人: 嶋田 透	W12: 深化するガ類性フェロモンの真価2017 世話人: 藤井 毅、櫻井 健志
W071 奥田 隆 (農業食品産業技術総合研究所) アフリカ半乾燥地帯に生息する昆虫たちの生存戦略: 熱帯休眠研究の重要性 W072 ○Richard CORNETTE ¹ ・山本 直 ² ・小林 貞 ³ ・Oleg GUSEV ⁴ ・Dylo PEMBA ⁵ ・奥田 隆 ¹ (農研機構 ¹ ・大阪府立大学 ² ・川崎市 ³ ・カザン大学 ⁴ ・マラウイ大学 ⁵)マラウイから発見されたネムリユスリカの新種について	W081 向井 裕美 (森林総研・森林昆虫) 振動シグナルはなぜ孵化の合図となるのか?: 亜社会性ツチカメムシ類の親-胚間コミュニケーションとその進化プロセスに迫る W082 森山 実 (産総研・生物プロセス) チャバネアオカメムシの可逆的な体色変化を生み出す分子機構 W083 松尾 和典 (九大院比文) 果樹を加害するカメムシ類の卵寄生蜂	W091 山村 光司 (農環研) 伝統的key-factor analysisの問題点とkey-factor/key-stage analysisの提案 W092 湯川 淳一 (九州大学) Key factor/key stage analysis の実例: イボタミタマバエ生命表データ解析 W093 桐谷 圭治 (伊東市) Back to the future: 温故知新	W101 村上 貴弘 (九大・決断科学センター) 福島第一原発周辺のアリに見られる被曝影響評価 W102 増子 恵一 (専修大・経営) アリの栄養交換: 血リンパ食の自然史	W111 ○伴野 豊 ¹ ・藤井 告 ¹ ・嶋田 透 ² ・木内 隆史 ² ・梶浦 善太 ³ ・瀬筒 秀樹 ⁴ (九大院農 ¹ ・東大院農 ² ・信大繊維 ³ ・農研機構 ⁴) ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP)「カイコ」の概要 W112 ○藤井 告 ¹ ・櫻井 健志 ² ・門田 幸二 ³ ・神崎 亮平 ² ・嶋田 透 ³ ・伴野 豊 ¹ (九大農 ¹ ・東大先端研 ² ・東大院農 ³) NBRPカイコの変異体を活用した遺伝子機能研究 W113 大門 高明 (京大院農・昆虫生理) カイコの変異体とゲノム編集を活用した脱皮・変態の研究 W114 ○李 允求・木内 隆史・勝間 進・嶋田 透 (東大院農・昆虫遺伝) エリサンにおける形質遺伝子の単離とゲノム編集	W121 中 秀司 (鳥取大・農) Hybrid Typeから考察するタイプII性フェロモンの進化 W122 安藤 規泰 (東京大学・先端研) ハイブリッドロボットで探る昆虫の匂いを探すしくみ

小集会プログラム3月29日(水) 16:00~17:30

A会場	E会場	F会場	G会場
<p>W13: 第2回 天敵利用を考える会 世話人: 大野和朗、柿元一樹、安部順一朗</p>	<p>W14: 温故知新・昆虫生態学の先輩から学ぶ(4)石井象二郎先輩と愉快的仲間 世話人: 金子修治、鈴木紀之、安田弘法</p>	<p>W15: ゴール研究:基礎と応用に関する最近の話題 世話人: 阿部芳久、松尾和典</p>	<p>W16: 昆虫免疫夜話III 世話人: 横井 翔、芳山 三喜雄、古川 誠一</p>
<p>W131 河合 章(農研機構・野菜花き) IPMにおける天敵と抵抗性品種の利用</p> <p>W132 矢野 栄二(近畿大・農) タバコカスミカメの生態と利用に関する知見</p>	<p>W141 ○金子 修治¹・鈴木 紀之²・安田 弘法³(大阪環農¹・カリフォルニア大²・山形大³) 温故知新・昆虫生態学の先輩から学ぶ(4)石井象二郎先輩と愉快的仲間</p> <p>W142 若村 定男(京都学園大学) 農業試験場から専門場所、そして大学で生き続けるもの</p> <p>W143 西田 律夫(京都市) 石井象二郎先生の昆虫学に招待されて～</p> <p>W144 山岡 亮平(元京都工芸繊維大学) 石井象二郎論:川那部氏との対決</p>	<p>W151 安田 慶次(沖森研セ) デイゴヒメコバチ <i>Quadrastichus erythrinae</i> (以下Qe)とそのゴールについて、防除の視点から述べる</p> <p>W152 ○佐藤 信輔¹・湯川 淳一²(つくば市¹・九州大学²) ヤナギ属植物を寄主とするヤナギシントメタマバエ <i>Rabdophaga rosaria</i>(ハエ目:タマバエ科)の新区における分布と寄主範囲拡大の方向性</p> <p>W153 ○井手 竜也¹・阿部 芳久²(森林総研¹・九州大・比文²) タマバチ科の分類と生態に関する最近の話題</p>	<p>W161 ○西出 雄大¹・田中 博光¹・横井 翔¹・古賀 隆一²・深津 武馬²(農研機構・生物機能¹・産総研・生物プロセス²) チャバネアオカメムシと細菌の共生関係におけるImd経路の影響</p> <p>W162 和田 早苗(農研機構生物機能部門) 昆虫病原糸状菌 <i>Beauveria brongniartii</i> に対するカイコの抵抗性機構</p>

H会場	I会場	K会場
<p>W17: 水田の重要天敵ウンカシヘンチュウの可能性を探る(II)～絶滅危惧から保全再生利用へ～ 世話人: 吉田睦浩、日鷹一雅 コメンテーター: 渡邊朋也 コメンテーター: 松村正哉</p>	<p>W18: 視覚イメージを利用した害虫管理を学ぶ会～青とエッジ～ 世話人: 霜田政美、徳丸普、太田 泉</p>	<p>W19: 予察灯を巡る最新情勢 世話人: 平江雅宏</p>
<p>W171 ○日鷹 一雅¹・星野 滋²・永井 一哉³ (愛媛大院¹・広島農技セ²・日植防³) ウンカシヘンチュウ個体群の中国四国地方における現状と保全に向けて</p> <p>W172 ○吉田 睦浩・松村 正哉・木村 貴志 (九州沖縄農研) 熊本におけるウンカシヘンチュウ生息状況とその利用に向けて</p> <p>W173 ○松比良 邦彦・井上 栄明 (鹿児島農総C) 鹿児島県における近年のイネウンカの発生状況とウンカシヘンチュウの発生実態～ウンカシヘンチュウを利用した水田IPMに向けて</p>	<p>W181 霜田 政美 (農研機構・生物機能) 視覚イメージを利用した害虫防除法“光防除”について</p> <p>W182 佐藤 安志 (農研機構果茶研金谷) 青色光の夜間照射;概日リズム攪乱による新たな害虫管理技術</p> <p>W183 堀 雅敏 (東北大院農) 青色光の殺虫効果と今後の展望</p> <p>W184 ○弘中 満太郎・針山 孝彦 (浜松医大・生物) 光源の視覚的エッジやフリッカーを利用した昆虫の行動制御技術</p> <p>W185 ○八瀬 順也¹・弘中 満太郎²・森口 彦弥³ (兵庫農技総セ¹・浜松医大・生物²・大協技研(株)³) アザミウマ類およびコナジラミ類の視覚定位行動と色彩トラップへの応用</p>	<p>W191 平江 雅宏 (中央農研) LED光源を利用した予察灯開発の試みについて</p> <p>W192 ○藤田 和久¹・平江 雅宏² (光産業創成大学院大学¹・中央農研²) 予察灯として利用可能な新型LED光源の開発</p> <p>W193 ○屋良 武信・喜屋武 毅・望月 康司 (興南施設管理株式会社) LED光源を利用した予察灯の設計及び実用化調査</p> <p>W194 ○西村 卓真・山本 雅則・江波 義成 (滋賀県病虫害防除所) 予察灯光源である白熱電球の代替光源としての緑色LEDの評価</p> <p>W195 ○鍵野 優子¹・井手 真奈美¹・松比良 邦彦² (長崎防除所¹・鹿児島農総セ²) 長崎県と鹿児島県におけるLEDを光源とした予察灯の海外飛来性イネウンカ類2種に対する誘引性能</p>